



令和6年5月号
所沢市立荒幡小学校
校長 小林 雅行

挑戦する自分、挑戦しない自分

葉桜を愛でる季節、木々の緑も一雨ごとに鮮やかさを増してくる中、子供たちは新学年での学校生活にも慣れ、日に日にたくましく成長しています。ゴールデンウィークも目前に迫り、子供たちも来たる連休を楽しみにしています。ご家族との時間が素敵なものとなりますよう願っております。

さて、学校とは楽しく安心して生活できる場であり、仲間を通じて学び合う場でもあります。新年度も一ヶ月程経過しましたが、昨年度と比較してお子様は自分の力を最大限に発揮すべくご家庭でも努力する毎日を送っていますでしょうか。

例えば、毎日、家庭学習に励んでいるでしょうか。学校から出された宿題を進んで自ら取り組んでいるでしょうか。はたまた、新年に立てた自分の目標や夢の実現のため継続し努力しているでしょうか。どうか、保護者の皆様には、機会あるごとに声をかけ手を添え、励ましていただきますようお願い申し上げます。

努力を惜しまない子供は輝いた目で希望を語り、何に対しても挑戦の毎日を送ります。

怠け癖のある子供は『あれが嫌だ、これが嫌だ』と不平不満を述べ、挑戦の毎日から逃げ出してばかりいます。下記の言葉のように、本気になってやり遂げるのだという強い信念を全ての子供たちが持てるように応援していきたいと思っています。

為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり

江戸時代後期、米沢藩主の上杉鷹山が家臣に教訓として詠み与えたという話。

どんなことでも強い意志を持ってやれば必ず成就するということで、やる気の大切さを説いたことば。

なんでもいいからさ 本気でやってごらん 本気でやればたのしいから
本気でやれば つかれないから つかれても つかれが さわやかだから

(相田みつお)

誰もが過去と他者を変えることはできません。しかし、考え方しだいでは、いつでも未来と自分を変えることができます。同様に、今ある自分は過去からの贈り物であり、今ある自分は未来に必ずや花咲く蕾でもあるのです。だからこそ、保護者の皆様方と共に、一生懸命に頑張る子供らの育成に力を合わせていきたいと思っています。

よりよい子供たちへと成長させるために、学校も全力で指導してまいります。御家庭でも日々励ましながら、お子様へのご指導をお願いいたします。今後も、学校と家庭との連携の充実を図っていききたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。